

【秋葉区】山の手地区住民バス 運行計画(変更)(案)について<概要版>

1. 経緯

山の手地区・住民バスは、高齢者の通院や買い物等の移動需要に対応すること、また中学生の通学の移動需要に対応することを目的として、平成30年4月から社会実験として運行しています。

今後も継続して運行できる住民バスを目指すために、これまでの利用実績等を踏まえ、運行内容に見直すものです。

2. 利用実績, 利用者・地域の方々の声

平成31年4月～ 令和元年5月 利用実績	・運行日数 延べ39日 ・1日当たり 7.4人	・利用者数 延べ 287人 ・収支率 5.6%
必要収支率	約13%（社会実験3年目に移行するための収支率）	
利用者・ 地域の方々の声	<ul style="list-style-type: none"> ・住民バスで病院に通っているが、帰り（2便）のバスに間に合わない。 ・銀行、郵便局のある小須戸地区の商店街の方まで行きたい。 	

3. 変更内容

運行 期間	令和元年8月1日～10月30日	11月1日～11月30日	12月1日～ 令和2年3月31日
	土・日・祝日及び12月29日～1月3日は運休		
運行 ルート	1便の終点を「小須戸一丁目」、 2便の始発を「大光銀行前」に 延長	工事終了に伴い「花の 湯館坂下」「花の湯館 前」バス停供用再開	9月末までの実績や利用 者・地域の方々の声 を参考に検討し、別途 協議
運行 ダイヤ	(1) 1日2便（現行どおり） (2) 2便の出発を15分遅く	工事終了による上記 運行ルートの変更に 伴い「鎌倉神明宮」「鎌 倉」の出発／到着時刻 を各3分変更	(1) 1日6便（通勤・ 通学のための便を 追加） (2) 9月末までの実績 や利用者・地域の 方々の声を参考に 検討し、別途協議

3. 改正時期

令和元年8月1日

4. 地域への周知方法

新しい運行ガイド（変更点と新しいダイヤ）、バス通信（これまでの実績、社会実験実施の条件、利用者の声など）を、7月15日に山の手地区・小須戸地区に全戸配付。